

熱気球に夢を乗せ

中日青葉学園の子ら体験



デザインしたビニール製の熱気球を飛ばす子どもたち＝日進市岩崎町の中日青葉学園で

児童福祉施設の中日青葉

学園（日進市）の子どもたちが十四日、熱気球を飛ばす体験をした。三菱UFJ銀行の社会貢献活動支援金

を活用した。

講師として、芸術と心理学を組み合わせた活動を展開する名古屋市のアーティストの水谷イズルさん（六〇）

を招き、熱気球の原理を講義。ビニール製の一・八坪の気球に、小学二年から高校二年までの十五人が、ペンでケーキや好きなアニメキャラクターなど夢をイメージしたデザインを描いた。

カセットこころで空気を熱して膨らませると、上空四十五分付近まで浮上。伊藤藤麻那さん（二七）は「『あきらめないで頑張りたい』と将来への思いを書いて飛ばしました。上手に飛んで思わず声が出ました」と話した。

（加藤慎也）